

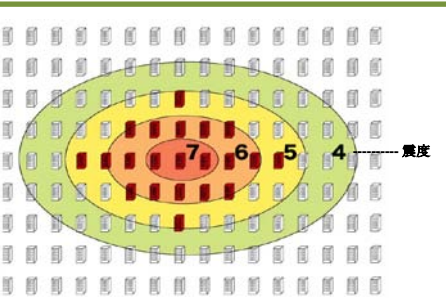


第7回「これからの耐震設計と地震防災」

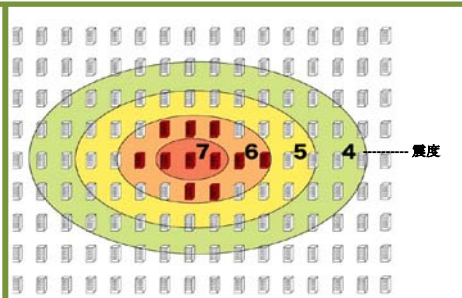
工学院大学 新宿校舎3階 アーバンテックホール 12月17日(金曜) 17時から20時 **16時30分受付開始**

- 17:00~17:05 主旨説明・司会: 近藤龍哉(工学院大学)
- 17:05~17:55 講演①強震動と防災: 久田嘉章(工学院大学)
- 17:55~18:45 講演②日本の耐震技術の海外への応用: 寺本隆幸(東京理科大学)
- 18:45~19:00(休憩)
- 19:00~19:50 講演③これからの耐震設計: 和田章(東京工業大学)
(講演毎に5分から10分の質疑時間を設けます。活発な質疑をお願いします。)
- 19:50~20:00 公開講座閉会挨拶: 長澤泰(工学院大学副学長・建築学部長)

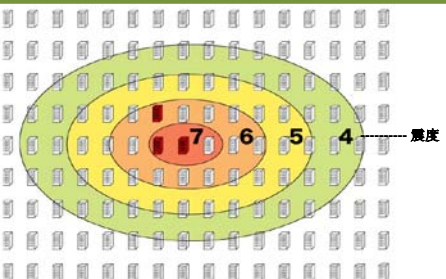
今回も3名の先生方による講演です。「耐震設計・地震防災技術」に関わるものです。一つは巨大地震の発生と被災予測、そして、発災後の対応についての講演です。二つ目は諸外国の被害事例を見て、「日本の耐震技術を海外に転用・応用する」可能性に関する講演です。三つ目は被害予測から検討する「現在有る耐震設計技術」の性能比較評価の講演です。興味深い講演です。活発な質疑が楽しみです。



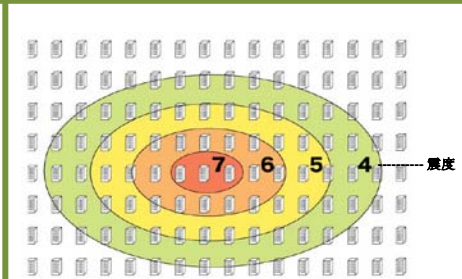
すべての建物が塑性変形能力に期待して作られた都市の被害分布



すべての建物が強度指向型として作られた都市の被害分布



すべての建物がダンパーにエネルギー吸収を期待した**制振構造**で作られた都市の被害分布



すべての建物が**免震構造**によって作られた都市の被害分布